

大手町・丸の内・有楽町のまちづくり。



2023 Spring

50

On!



リニューアル号!



いつでも 新しい大丸有。





東京メトロ、日比谷線13000系の車両を緻密に再現した模型。



街と鉄道は切っても切れない関係です。

KAZUYUKI ISHIDA

東京地下鉄株式会社 / 経営企画本部
企業価値創造部 開発推進担当
兼まちづくり連携担当

石田和之さん

石田 有楽町エリアは、古さと新しさが同居しているような印象ですね。ビジネススマンだけでなく、お買い物の中の方や、外国人の方もよくお見かけします。丸の内エリアは、古い建物などをさらにいかして、有楽町以上に新旧を同居させているように見えます。歴史を重んじるとともに、先進性もあって、独自の雰囲気を感じられると思います。

東京メトロ全体で多様性に向かっています。

KOUKI ARAI

東京地下鉄株式会社 / 経営企画本部
経営管理部 経営戦略担当

新井皓貴さん

新井 やはり大手町エリアは、ビジネスでいらしている方の割合が高いようです。そのため、大丸有というビジネス街のようなイメージに結びつきやすいのですが、日比谷などには大型の商業施設や緑豊かな日比谷公園があって、お子様連れのご家族や、散歩をされるご高齢の方も多くいらっしゃいます。エリアや場所によって、思い思いに過ごすことができる、と言えるのかもしれない。

東京メトロから見た大丸有の魅力とは。

東京メトロは長年にわたって、大丸有の地下の開発を続けてきましたが、各エリアの特徴や魅力をどうとらえていますか？



東京メトロは大丸有の街と。

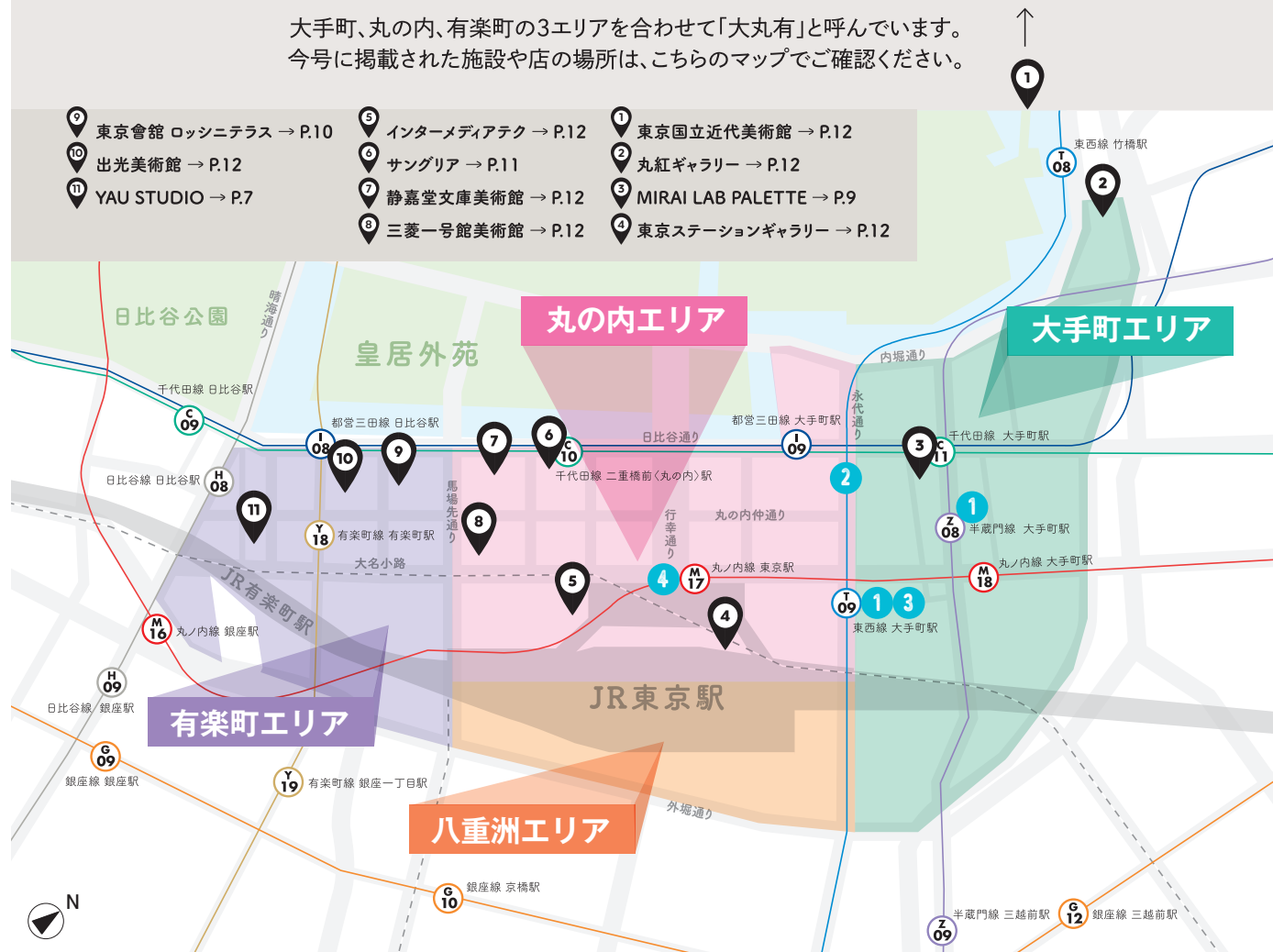
「大手町駅」「二重橋前(丸の内)駅」「有楽町駅」「日比谷駅」「東京駅」と、大丸有エリアに5つの駅を置いて、毎日の利便性を支える「東京メトロ」。都市生活に欠かせないライフラインとして、お客様の多様性に対応し、これからのまちづくりに貢献していくことの大切さを、新井さんと石田さんのお二人が教えてくれました。

DAIMARUYU MAP & INDEX

大丸有へようこそ。

大手町、丸の内、有楽町の3エリアを合わせて「大丸有」と呼んでいます。今号に掲載された施設や店の場所は、こちらのマップでご確認ください。

- ① 東京国立近代美術館 → P.12
- ② 丸紅ギャラリー → P.12
- ③ MIRAI LAB PALETTE → P.9
- ④ 東京ステーションギャラリー → P.12
- ⑤ インターメディアテク → P.12
- ⑥ サンテリア → P.11
- ⑦ 静嘉堂文庫美術館 → P.12
- ⑧ 三菱一号館美術館 → P.12
- ⑨ 東京会館 ロッシニテラス → P.10
- ⑩ 出光美術館 → P.12
- ⑪ YAU STUDIO → P.7



東京メトロのここもおすすめ!

P3からの「東京メトロ」取材時に聞いた、大丸有エリアの地下にある「おすすめポイント」もあわせてご紹介します。近くにお立ち寄りの際は、こちらもぜひ。



- おすすめ ④ 東京駅には、英語や中国語で対応できるスタッフも常駐している「東京メトロ東京駅旅客案内所」がある。地下鉄利用でなにかお困りのときもこちらまで。
- おすすめ ③ 東京メトロのシンボル「マーキュリー像」はいつ見たことある？ 大手町駅、東西線のコンコースに2体。ちょっと足をのばせば、銀座駅にも計4体。
- おすすめ ② 忙しいときにも頼りになる「そば処 めとろ庵」(大手町メトロピア店)。そばはもちろん、北海道産小麦粉を使ったうどんや自家製天ぷらもお試しあれ。
- おすすめ ① 大手町駅には、東西線の改札横など計3カ所に「CocoDesk」がある。事前に予約をしておけば、安心・快適な環境の個室で仕事に集中できる!



多様性を受け入れ、もつと先へ。



——東京メトロでは、お客様の多様性やさまざまな要望に対して、どのように向き合うことを大切にしているでしょうか？

新井 東京メトロは公共交通機関であるため、すべてのお客様に安全かつ快適にご利用いただくことが最優先です。2021年度には1日平均で522万人のご利用があり、現在もたいへん多くのお客様がいらっしゃいますので、まずは安全を確保すること。そのうえで、お客様にご迷惑がかかるような事態が起こるのを防ぐ、ということをご心がけています。車椅子をお使いの方がいらしたら、降りのお手伝いをさせていただくなど、すべてのお客様にしっかりと対応していくことが大切です。また、外国人のお客様にも対応できるように、駅係員に英会話の練習時間を設けたり、案内サインや自動券売機の多言語化を

進めるといった取り組みもしてきました。——さらに安全性を高めるために、東京メトロは2025年度までに全駅にホームドアを完備することを目指しているそうですね。ご高齢の方や、お体の不自由な方にも安心してご利用いただくためには、ほかにどのような施策を進めているのでしょうか？

新井 駅の安全対策やバリアフリー化は、引き続き進めているところです。ホームから地上までエレベーターを使って到着できるルートも、1つは確保しようという『ワンルート整備』も進めており、大丸有エリアには完備できています。こうした改良や改修は、もちろん当社だけで実現できるものではなく、周囲のビルや施設など関係事業者のみならず、連携して準備をしていく必要があります。ソフト面においては、便利で使いやすいウェブサービスや、移動方法を細かくパーソナライズできるアプリ（左ページを参照）などの開発も進めてきました。

——計5つの駅を擁する大丸有エリアにおいて、お客様の多様性に対応する施策にはどのようなものがありますか？

石田 大丸有エリアに限らず、東京メトロ全体が多様性に向き合う施策に取り組んでおりますが、大手町などはとくに勤務中の方が多いため、そうしたお客様に対応する必要性が高くなります。わかりやすい例で言えば、『CocoDesk（ココデスク）』という個室型ワーキングスペースを、大手町駅の改札近くに3カ所設置しています。15分単位でご利用いただけるので、働き方の多様化に適應する取り組みといえるかと思えます。一方で、東京駅となると、地理に不慣れな方やご旅行中のお客様も多くいらっしゃいますので、そうした方に丁寧にご説明するという日ごろの対応も重要になってきます。

——そうした多様性への対応とともに、SDGsの達成に向けた施策も同時進行ということになるでしょうか？



上/東京メトロの前身にあたる営団地下鉄の丸ノ内線で運行していた300形車両の模型。
中/本社に移設された、彫刻家・笠置季氏によるマーキュリー像。ローマ神話に登場する商人や旅人を見守る神をかたどった作品で、現在も銀座駅や大手町駅などに置かれている。

新井 はい。誰一人取り残さない、というのがSDGsの原則であり、当社も鉄道事業者として、安心かつ持続的な社会の実現に向けて「サステナビリティ経営ビジョン」を掲げ、取り組みが続いているところです。たとえば環境面においても、一人が移動する際のCO₂排出量を比較すると、鉄道は自動車などよりはるかにエコな乗り物ですが、なかでも東京メトロの車両は環境性能の高さが際立っています。今後、カーボンニュートラルを目指すうえで、東京メトロのようなモビリティこそが鍵になるのではないのでしょうか。



東京メトロとこれからのまちづくり。

——東京メトロは、いまや多くの人にとって欠かせないライフラインといえると思いますが、今後はどのようにまちづくりに関わっていくのでしょうか。

石田 私はまちづくり連携担当として、再開発等が具体化する前に沿線の関係者の方々とお話をさせていただくことが多いのですが、まずはその地域のみならずの意向や方針を踏まえて、街と駅のあり方についてご相談させていただいています。実際のところ、地下を開発していくには課題や制約がたいへん多くあり、駅と街の一体的な開発においては、地

権者や事業者の方などしっかりと連携し、自分たちがどんなかたちで協力できるかを、その都度考えていく必要があります。鉄道事業においては、どなたにもご利用いただけることが重要であり、そのためには多様性に向き合うことが欠かせません。それは、まちづくりに通ずる、大きなポイントではないでしょうか。

——その街に住む人々と協調することによって、次第に駅のかたちが見えてくるということですね。

石田 街ごとに魅力や特徴があり、地元の方たちの思いがある。そうしたものが生きるように、駅のコンセプトや設計を検討しています。その駅ならではの発車メロディを選ぶ、といったことも一例です。鉄道というのは、行き先や目的がないとご利用いただけません。街が元気になるれば、私たちの鉄道事業も元気になっていく。それくらい、切っても切れない、大きな影響を受ける関係性にあるものと考えています。

イバーシティ&インクルージョン)への意識を高めるために、まずは私たち自身が他者の価値観や考え方を認め合う必要があるという認識のもと、上司と部下の相互理解を深める「1-on-1ミーテ

また社内的な取り組みとしては、D&I(ダイバーシティ&インクルージョン)への意識を高めるために、まずは私たち自身が他者の価値観や考え方を認め合う必要があるという認識のもと、上司と部下の相互理解を深める「1-on-1ミーテ

また社内的な取り組みとしては、D&I(ダイバーシティ&インクルージョン)への意識を高めるために、まずは私たち自身が他者の価値観や考え方を認め合う必要があるという認識のもと、上司と部下の相互理解を深める「1-on-1ミーテ



「スムーズメトロ」はこちらから

駅ごとにバリアフリーな移動方法を検索できるウェブサービス「スムーズメトロ」。各駅のホームと車両床面の段差・隙間や、バリアフリートイレについても確認ができる。



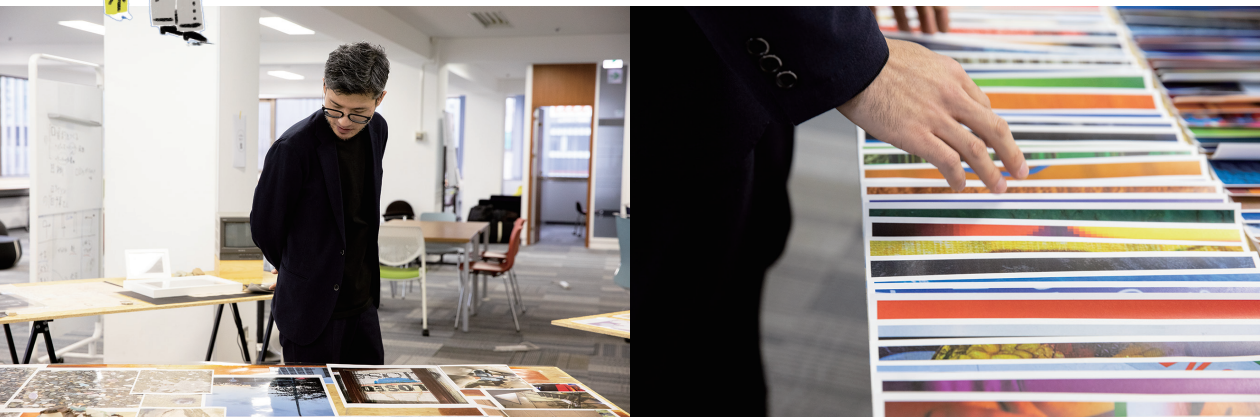
「東京メトロmy!アプリ」はこちらから

公式の「東京メトロmy!アプリ」は、さまざまな交通機関を含めた最適ルートが検索できて便利。列車内の混雑状況の確認や、健康的な移動方法を選ぶことも可能に。

東京メトロとは…

帝都高速度交通営団(営団地下鉄)の民営化によって、2004年に発足した東京地下鉄株式会社の愛称。現在は銀座線、丸ノ内線、日比谷線、東西線、千代田線、有楽町線、半蔵門線、南北線、副都心線の計9路線を、東京都内と首都圏の一部で運行している。





有楽町ビル10Fにある約1200㎡のオフィス空間を活用したYAU STUDIO。紹介制だが、登録を済ませたアーティストは、いつでも自由に創作活動などに無料で利用できる。アートマネージャーやキュレーターのコ・ワーキングスペースとしても活用されている。

的な反応を解きほぐすなどして、両者の相互理解を深め、強みを最大化することが、私の役目になります。

——プロジェクトの中で、アーティストの自由かつ多様な発想をいかすためには、どのようなことが重要になるでしょうか？

深井 アーティストは自分の名前を掲げて、個人として創作を行い、ある領域において最高のクオリティを目指しています。まずは、彼らのその覚悟と仕事を信じて、じっくり時間をかけて待つこと。そして、作品が生まれきたら、積極的に受け止めようとしてみる。こと。そのうえで、遠慮なく、率直に意見を交わすなど、一緒によりいいものに仕上げていくことを心がけたいですね。

——アーティストが活動していくうえで、有楽町はどのような環境でしょうか？

深井 なんといっても、この地の利が魅力的です。展示や創作過程を見てもらいやすく、人との出会いも情報量も多い。有楽町という場所は、日比谷、銀座、丸の内、皇居に隣接していて、それらの中間点でもあるため、さまざまな人々や文化が集まっています。古く江戸時代には南町奉行所が置かれて大名屋敷が立ち並び、その後も時代ごとの要請に応じて、清濁併せ呑むように変遷を重ね、多様性を担保し続けてきた街です。そこが、アートと相性がいい理由なのだと思います。



© TOKYO PHOTOGRAPHIC RESEARCH PROJECT

丸の内仲通りなどの街路灯に掲げられたフラッグ「POLYPHONIC REFLECTIONS」。YAU STUDIOで活動している「TOKYO PHOTOGRAPHIC RESEARCH」と「大丸有エリアマネジメント協会（リガーレ）」が協力することで実現した実験的なプロジェクトから、こうしたアートフラッグが生まれた。



11 YAU公式サイトはこちら

ATSUSHI FUKAI



ふかい・あつし／コンサルタント、編集者。井上ビジネスコンサルタントに所属しながら、一般財団法人カルチャー・ヴィジョン・ジャパンとしての活動を続けるとともに、YAUプロジェクトチームの一員としても取り組んでいる。



アーティストが街を変えていく。

大丸有エリアの中でも、近年とりわけアートとの関係性が深まりつつある有楽町。その牽引役を果たしているのが「有楽町アートアーバニズム」、通称「YAU（ヤウ）」と呼ばれる実証プログラムです。これから都市が成長していくために、なぜアートやアーティストの存在が重要なのか。YAUプロジェクトチームの深井厚志さんに伺いました。

“アーティストがお隣さん”な街が目標です。



YAUプロジェクトチーム 深井厚志さん

——有楽町とアートの関わりを深めているYAUですが、まずはその目標や主な活動について教えていただけますか？

深井 大きなミッションとしては、街とアーティストの交流からイノベーションを創発することになります。それを有楽町という街の原動力の1つにしていきたい。そのため、このYAU STUDIOをアーティストたちの創作の場としてセミオープンに構え、新たな交流や共創の可能性を広げています。

——深井さんご自身が、YAUで果たされている役割について教えてください。

深井 企業やそこに勤務するワーカー、行政といった、まったく違う分野の相手とアーティストをつなぐ通訳のような役割と言えるでしょうか。たとえば、自治体との取り組みであれば、アーティストが参加しやすいように、私が一緒にロジックを整理したり、企画書をつくったりする。同時に、アーティストに対しては、行政や企業に対するアレルギー

——アートやアーティストがしつかりと根づいた街には、これからどんな魅力や可能性があると考えていますか？

深井 ひとつ言えるのは、無軌道であるということでしょうか（笑）。予定調和的ではない、というか。アーティストが活動を続け、アートが街にあふれてくることで、ひよつとしたら、私たちの想像を超えた街へと変わっていくかもしれません。アートなんてよくわからない、という人もいます。そういう人にこそ、一度アーティストに会って話をしてみたい。そもそも人として面白くて魅力がある、ということがわかるはず。そういうアーティストが、「普通」のお隣さんになってくれるのが理想。それだけで、街は変わっていくと思います。



教えてもらいました!

なぜ「コミュニティ」がまちづくりに必要なのか?

ここ数年でビジネスシーンにおける「コミュニティ」の存在が大きな盛り上がりを見せ、社会の不確実性が高まる昨今、それはより顕著なものとなりました。大手町は大丸有エリアの中でも積極的にコミュニティ活動を行っており、その一翼を担っているのが、大手町ビルにある「MIRAI LAB PALETTE」です。コミュニティがビジネスや都市にもたらすものはなにか。その存在価値を、コミュニティマネージャーを務める鎌北雛乃さんに伺いました。

まちづくりは人が主役。その一助となるコミュニティの形成をサポートしています。

コミュニティマネージャーの仕事とは?

A.1 人と人をつなぎ、新たな出会いを生み出す伴走者です。登録メンバー同士のつながりを創出するコミュニケーションの活性化、ニーズに沿ったメンバー同士のマッチングやネットワーキングのサポート。コミュニティの形成や活性化のための企画立案・運営、ラボのPR活動などを行っています。

Q.1

教えてくれる人

MIRAI LAB PALETTE コミュニティマネージャー

鎌北雛乃さん



求められるスキルや適性は?

Q.2

A.2 メンバーとコミュニティを第一に考えられること。十人十色の個性を楽しむ、柔軟性や適応力も重要。マッチングの際にメンバー同士が相手に抱きがちな先入観を払拭できるよう、人を俯瞰して見る力も大切だと思います。

コミュニティの形成で重要なことは?

Q.3

A.3 綿密な計画や成果を求めすぎず、偶発性を引き出すことです。過去の経験から、勢いのあるコミュニティには、誕生までの背景に思いがけない出会いやチャンスが必ずあります。コミュニティは多様な人が集まる生き物のようなものですから、ありのままを受け入れることで、本質が見えてくるのかもしれない。

かまきた・ひなの / 学生時代に仲間と起業し、千葉県御宿町に移住してコミュニティスペースの運営をはじめとした地域コミュニティの形成や、まちづくりに携わる。2019年、住友商事が運営する会員制のイノベーションスペース「MIRAI LAB PALETTE」に加わる。

Q.5

ラボやコミュニティがまずすべきことは?

A.5 ラボ同士・コミュニティ同士がもっとオープンに連携することです。大手町のラボはよりよいマッチングを実現するために協働し、パートナーの相談をしようこともあります。こういった連携がコミュニティでもできると、ほかのエリアを巻き込んだ大きなコミュニティの形成や街同士のつながりになり、街とエリアの活性化にもつながると考えています。

Q.4

大手町の魅力はなに?

A.4 コミュニティを形成しやすい土壌が整っているところ。大手町にはラボやワークスペースが複数あり、大企業、ユニコーン、スタートアップなどが集まっているので、ラボ同士・企業同士の交流や連携を深めやすいです。

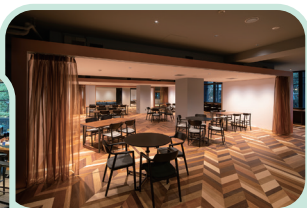
Q.6

大手町のことからの可能性は?

A.6 ラボが単独で、あるいは協働して人や企業、コミュニティ同士を結ぶハブとなり、大手町を起点に「イノベーションをつなぐ街」になるとよいのでは。大手町は、大企業とベンチャーが集まる稀有な場所。多様性があり、新しいアイデアが生まれやすい環境だと思うので、それぞれが協力し、まちづくりにつながる共創を生み出していけるといいですね。



MIRAI LAB PALETTE はこんなところ!



ビジネスやアートなど、ジャンルの垣根を超えてさまざまな人々が出会う場をつくることに、業態にとられないイノベーションを創造するためのプログラムやイベントを、多彩に提供しています。



3

MIRAI LAB PALETTE公式サイトはこちら



大丸有のとおき。

大手町、丸の内、有楽町でしか味わえない
とおきのおいしさをご紹介します。
一度は味わいたい特別な一皿です。

File 002

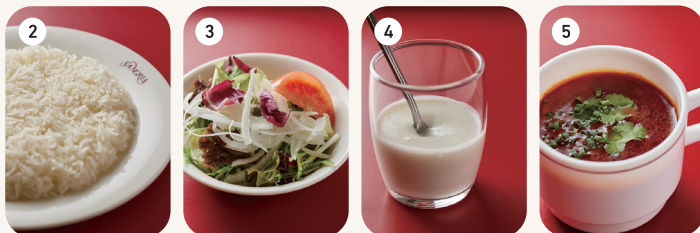
店名 SANGRIA サングリア

メニュー タイカレー チキン



カレーをライスに少しずつかけて2口、3口と食べると、じわりと頭頂に汗が浮かびます。このカレーの特徴は、クセになる辛さと深みのある旨さです。「辛さは青唐辛子とカイエンペッパー、胡椒も結構入ってます。使うスパイスは全部で20種類ほど。ココナツミルクは少なめに。出来立てがおいしい」と廣瀬達矢料理長。先代社長が出張先のタイで食べたカレーに触発されて、自ら開発したというタイカレー。原形が出来上がったのは80年代後半ごろのこと。南欧料理のレストランで、辛さがクセになるオリジナルのタイカレーは徐々に定着していきます。初めて食べた辛さの洗礼が、すっかり好きな味になると丸の内ビジネスマンとしても一人前と話す常連の方もいます。そして常連となったお客さんたちは、ルー大盛りにライス少なめなど、自分らしいスタイルを創り上げていくようです。

6
サングリア
千代田区丸の内2-2-1
岸本ビル 地下1階
TEL: 03-3213-3908
営業時間:
昼: 11:30~13:30 (LO.13:00)
夜: 17:00~22:00 (LO.20:30)
定休日: 土・日・祝
席数: 35席



タイカレー チキン
¥1,400 (税込) ※辛さ控えめのマイルドもあります
①タイカレー チキン(チキン、ポテト、ナス、シントウなど) ②最高級タイ米のジャスミンライス
③野菜サラダ ④辛さを鎮めるヨーグルト ⑤辛さが人気のトムヤムクンスープ(カップ)は¥300
タイカレーにはチキン、シーフード、サングリア(ほうれんそう、オニオン、ポテトなど)、ビーフの4種があります。
ランチのみならず、ディナーでも召し上がれます。

独自のレシピが
生み出す
クセになる辛さ。
私たちスタッフも
毎日食べています。

サングリア店長
山崎皓史さん



File 001

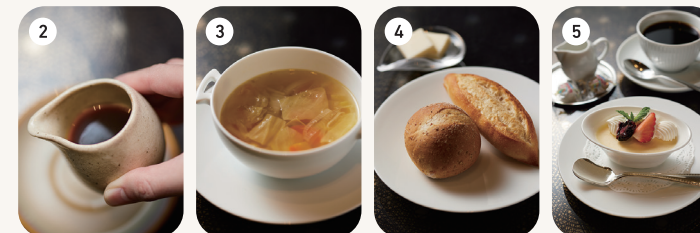
店名 Rossini Terrace ロッシニテラス

[ご予約限定]

メニュー ランチローストビーフセット

昨年、創業100周年を迎えた東京會館を代表する料理の一つが「ローストビーフ」。オールデイダイニングのロッシニテラスでは、4年前のリニューアルオープンに際して、国産牛に替え、US(アメリカ)産、NZ(ニュージーランド)産の牛肉を使って赤身をいかしたローストビーフを焼き始めました。「肉の回りを固めてから、できるだけ低温で焼いていきます。最後はさらに低めの温度で火を入れて、肉汁を閉じ込めて焼き上げてから、肉を少し寝かせて仕上げます」と牧野調理長。ボリューム満点のロゼ色の牛肉に、鶏ガラベースの特製グレービーソースをかけていただく。スーッとナイフが入る柔らかさで、頬張ると口の中に肉の旨みが広がります。1本6~7kgの牛肉を焼き上げるのに3時間はかかるそう。贅沢だけのお得感もある特別なランチ。じっくりと堪能いただきたい一皿です。

9
東京會館 ロッシニテラス
千代田区丸の内3-2-1
東京會館 本館 1F
TEL: 050-3134-4890(予約センター)
営業時間: 平日: 11:30~22:00
土・日・祝: 11:00~22:00
定休日: なし
サービス料: 15%
席数: 68席



[ご予約限定]ランチローストビーフセット
¥5,830(税込・サービス料別) ※前日18時までのご予約制(人数制限なし)
①ローストビーフ(US産またはNZ産/150g)・クリームレフォル・マッシュポテト・ラタトゥイユ・季節の温野菜 ②鶏ガラベースの特製グレービーソース ③田舎風スープ
④ライ麦パン&ブティバゲット ⑤ミニデザート・コーヒー付き

低温で
じっくり焼き上げた
ローストビーフを
特製グレービーソースで
お楽しみください。

ローストビーフ&グリル ロッシニ
ロッシニテラス調理長
牧野真治さん



ART&CULTURE

大丸有でアートもカルチャーも。

鮭のリアルすぎる質感に思わず唸る!



高橋由一「鮭」重要文化財 1877明治10年頃 東京藝術大学蔵 通常展示



5

インターメディアテック

① 極楽鳥

鳥をモチーフにした世界の宝飾芸術の名品を、鳥の剥製や研究資料とあわせて展示。「鳥」という生き物にどれほど魅入られ、芸術や宝飾の分野で表現されてきたか。美しきオオフウチョウ(極楽鳥)をめぐる、学術と芸術の物語がここに。



① ©インターメディアテック

鳥の美しさについてさまざまに探求。

② カトレヤ変奏

—蘭花百姿コロンビアヴァージョン—

蘭の博物誌をテーマとした企画展「蘭花百姿」の“コロンビアヴァージョン”が、ボゴタ現代美術館と東京大学総合研究博物館との国際協働で実現。コロンビアの国花であるカトレヤ・トリアナエなどを、多様な手法で描いた作品が揃う。



② ©インターメディアテック

コロンビアで描かれた植物画にうっとり。

- 会場：インターメディアテック 千代田区丸の内2-7-2 KITTE 2・3F 050-5541-8600
- 会期：①開催中～5月7日(日) ②開催中～6月4日(日)
- 展示時間：11:00～18:00 (金・土は～20:00)
- 休館日：月 ※祝日の場合は翌日休館

東京国立近代美術館 70周年記念展 重要文化財の秘密

明治以降の絵画・彫刻・工芸のうち、重要文化財に指定された作品を集めた展覧会。じつは、今回展示されている名作は、発表ときに物議を醸した“問題作”ばかり。それらがなぜ、後世に語り継がれる重要文化財となったのか、秘密に迫る。

- 会場：東京国立近代美術館 千代田区北の丸公園3-1 050-5541-8600
- 会期：開催中～5月14日(日)
- 展示時間：9:30～17:00 (金・土は～20:00)
- 休館日：月 ※5月1日(月)、8日(月)は開館



- ① 東京国立近代美術館 「東京国立近代美術館70周年記念展 重要文化財の秘密」 3月17日(金)～5月14日(日)
- ② 丸紅ギャラリー 「染織図案とあかね會—その思いを今につむぐ—」 前期：5月16日(火)～6月17日(土) / 後期：7月3日(月)～31日(月)
- ④ 東京ステーションギャラリー 「大阪の日本画」 4月15日(土)～6月11日(日)
- ⑤ インターメディアテック 「極楽鳥」 開催中～5月7日(日) / 「カトレヤ変奏—蘭花百姿コロンビアヴァージョン—」 開催中～6月4日(日)
- ⑦ 静嘉堂文庫美術館 「明治美術狂想曲」 前期：4月8日(土)～5月7日(日) / 後期：5月10日(水)～6月4日(日)
- ⑧ 三菱一号館美術館 ※4月10日(月)から2024年秋ごろまで、設備入替および建物メンテナンスのため休館
- ⑩ 出光美術館 「茶の湯の床飾り—茶席をかざる書画」 4月22日(土)～5月28日(日)

*各施設の所在地は、P2のマップもご参照ください

On!
2023 Spring

『On!』のタイトルは「Old but New」の頭文字に由来するものです。新旧が入り混じる大丸有エリアのまちづくり情報や魅力をお届けしています。

発行 一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会 〒100-8133 東京都千代田区大手町1-1-1 大手町パークビル TEL 03-3287-6181 FAX 03-3211-4367 <https://www.tokyo-omy-council.jp/>



大丸有エリアのまちづくりの最新情報や、『On!』のバックナンバーの閲覧はこちらから!

